

お母さんになったら

28年度6月号

梅雨の時期になると戸外に出られず、大人も子どももストレスがたまりやすくなります。親子で簡単なものを作って楽しみましょう。

小麦粉粘土で感覚遊び

粉から粘土を作る感覚遊びです。粉のさらさらした感触や水を加えてべとべとになった感触、粘土をこねる感触など、いろんな感触に出会えます。

粉の感触を楽しんで粘土を作ろう！！

- 分量は、小麦粉 100 g に対し水 50 cc、サラダオイルと塩は大さじ 1/2 ずつ。
 - ① ボウルに小麦粉を入れ、「さらさら、いい気持ちね」と子どもの両手で小麦粉を触って、感触を味わう。
 - ② サラダオイルと塩を入れ、両方の手で、よく混ぜる。
 - ③ 水を入れる。固まる様子を見ながら、少しずつ水を入れていく。べとべとになり、手にくっつくがそのままこねていると、徐々に粉が指から落ちてくる。手触りの変化も楽しめる。粘土になるまでこねる。
 - ※ 小麦粉 100 g あたり、2～3 g の食紅を混ぜ、水を一滴落とすと、粘土に色がつく。形や固さを味わって粘土遊びをしよう。
- できた粘土をほっぺにつけて「冷たい」という感触を味わおう。
- トントンたたいて、平らにしたり、丸めたり、長くしたりと色々な形を楽しみましょう。粘土は、指先、手のひら、手首を使うので、とてもいい遊びです。是非、親子でやってみて下さい。

